



博多講座  
大でもわかる



### 動画レポート

- ・犬もさるけば…
- ・博多弁知つテリア!?



Chat CAFE



デパチカクイーンズ  
花より団子  
お昼のオアシス  
ランチ新規開拓のススメ!



みんなの広場

天神発！早耳映画情報

おやじのアンテナ

エスプレッソを片手に

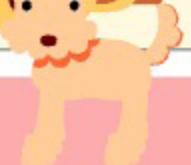
■ 天神エスプレッソ編集部  
http://www.espre.jp/  
info@espre.jp  
092(715)5273



専用ビューアーのみで  
閲覧可能！



このマークがついている写真は、クリックすると動画で見ることができます。  
プロードバンド向きの映像です。Windows Media Player(無料)をダウンロードしてご覧下さい。



犬

# でも分かる 博多講座

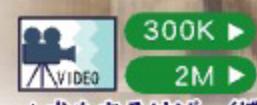


汚い方言が恥ずかしかった。

でも年をとることに、そのローカルであたたかい独特的の「味」が分かってきて、逆に仕事で標準語を連発していると「なん、ツヤつけてから!」と自分で突っ込んでしまうほど。故郷を愛する気持ちこそが、方言につながっていく。そういう意味では、博多に一度でも住んだ人は、みんな博多弁ファンなのではないだろうか。

ラーメン、照和、山笠、明太子、etc。博多には愛すべきものがいっぱいあって、博多弁はその最たるものだ。もつともっと本格的な博多弁を掘り起こし、日常的に使っていきたい。そしたら、もつと私も生糸の博多っ子に近付けるはずやけんねー!

## ●博多弁知っテリア!?



▲犬もさるけば…(博多編)



▲犬もさるけば…(親富孝編)



◀博多弁知っテリア!?

## ●博多料理No.ワン

「食楽たいだい」の永島由美子さんによる博多料理。がめ煮、あご、おきゅうとの博多定番料理のうんちくやワンポイントをご紹介。プラス有名すぎる博多の物産をアレンジした、だいだいの人気料理も紹介。必見やけんねー。

by T.E. staff

「食楽たいだい」の永島由美子さんによる博多料理。がめ煮、あご、おきゅうとの博多定番料理のうんちくやワンポイントをご紹介。プラス有名すぎる博多の物産をアレンジした、だいだいの人気料理も紹介。必見やけんねー。

### もっと詳しく見る

- ・犬もさるけば…
- ・博多弁  
知っテリア!?
- ・博多料理No.ワン

## ●犬もさるけば…

山下さんの「定番博多名所コ

リード2時間半の所に浮かぶ「壱岐」。本当は長崎県なのだが、みんな「壱岐の中では壱岐は福岡県に属するはずだ」と強く思っているフシがある。私は島の新聞で「福岡情報」を連載しているのだが、自分で言うのも何だが人気がある。みんな、博多を自分の故郷と同じくらい愛しているのだ。今や私も博多在住歴6年目を迎えて、気分はすっかり博多っ子である。テレビなどで博多出身の女優やバンド、著名人を見かけると、ワケもなく応援したくなったり、博多のことを感じてしまう。実際、博多弁って荒っぽいけど妙な愛嬌がある。山笠の「あるけん博多たいー」「わかつば…」「せからしか」「いいぐわー」「なんしようと?」そんな方言を耳にするたびに、ああ博多に住める私って幸せばーいと秘かに思う。そんな理由のない幸福感が「博多弁」にある。昔は、

# 人生相談あり 笑いあり

博多のユニークタクシー 持丸謙吾さん



正直、こんなに喋る71歳は初めて。持丸さんのマシンガントークに、取材の主導権を奪われ、一時どうなるかと思われたが、そこは心得たもの。名文句を披露してくれました。

by akiko kosaka

「これだけは、いつも持ち歩いとるとですよ」。持丸謙吾さん（71歳）が、年季の入った封書や葉書の束をこつそり見せてくれた。福岡に来たら必ず持丸さんのタクシーに乗るという著名人や海外から届いたあ禮状など、「家にもまだいっぱいある」と持丸さん。さすがは、ファンクラブを持つタクシー運転手だ。「常連のお客様が東京から朝早く福岡に着くとするでしょうが、そしたら私は迎えに行く時にあ茶と駅弁の一番いいのを買って用意しとくとです。親切を押しつけたらいかんというものですから。金額の高い安いじゃない、やっぱり人間関係が大切でしょくな」人気の秘密は、正直であたたかい人柄と細やかな心遣いにある。

「身の上相談、いっぱいあります。特に男と女の関係は、微妙で複雑かつ常識で割り切れないものです（笑）。私も女性には53年間、慈愛と奉仕で尽しています」。政治、経済、博多の歴史、スポーツなど話題は豊富だが、特に女性の話になると名文句がポンポン飛び出す。昭和40年か

## お茶に弁当にマシンガントーク



▲インタビューの途中、道行く人々が次々と持丸さんに声をかける。「ホテル オークラの辺りは、私のテリトリーですから誰でもよう知ります（笑）」

らタクシーに乗りはじめ、49年に個人タクシー開業。以来38年間、博多の街を走り続けてきた。「歌舞伎役者が舞台で台詞を忘れるのと一緒に、やり損ないは許されません。私の場合、人の命を預かるのが仕事ですから」。時にはお客様の言葉にカチンとくることもあるが、そこはキャラアでサラリとうけながす。「人間ですから色々あります。でも生きることはお金稼ぐこと、人に迷惑はかけられない。私あと10年は健康で、生涯、無事故無違反でタクシーを転がしていきたい」。芸人みなみのマシンガントークと笑いを残し、持丸さんのタクシーが天神へ消えていった。

目次へ

**花より団子**

**福岡天神・大丸**  
店名 サザエ  
品名 お団子  
価格 各本 250円  
走者中の定番のお団子セット。見た目も味も期待を裏切らないのだ！

**岩田屋本館**  
店名 風月堂  
品名 すはま団子  
価格 8本入り 350円  
桜の木の下で、渋い緑茶と頂きたい和菓子。

**福岡天神・大丸**  
店名 ココ亭  
品名 ナンコツつくね串、ちょび辛つくね串  
価格 各 120円  
団子っぽいので選んじゃいました。ちょび辛つくね串は程よい辛さ、ナンコツつくね串はこりこりナンコツがGOOD!!

**テパチカクィーンズ**

## お風のオアシス

### ランチ新規開拓のススメ!

「なんか新規開拓したいよねえ。」とランチの度につぶやく気がする。飽きっぽいわけではない。ただ…ただ天神の新しい風を感じたいのだ！と理由を付け、今日もささやかなトキメキを求めます。

「んー、これで900円は高い」「これは少ないでしょう」「揚げ物な気分じゃないなあ」とあれこれ迷いながらウインドウショッピングをしているかのように歩き、数々の誘惑の中、ついにたどり着いたそのお店は「Lilac（ライラック）」。清潔感があっておしゃれな店内、気取り過ぎない程度にポップな雰囲気と広すぎず狭すぎない感じが好み。

日替わりのパスタランチは、サラダ・コーヒーが付いて680円。本日は「菜の花とナスのバジルスパ」、平麺のパスタはどちらもちとした食感で、菜の花の黄色が食欲を増大させてくれます。

香の訪れを感じつつ、上品なお味に幸福を感じます。質・量・値段共に納得のランチに、「お店が私を呼び寄せたのだわ」と思わずにはいられない。気の向くままに「ココだ！」と思った店こそ、新規開拓の一一番の方法なのね。

by Tomoko Tanaka

**もっと詳しく見る**

**\*Lilac**  
ライラック

住 所：福岡市中央区大名1丁目6-13  
キキプレイス2階  
TEL: 092-726-9696  
営業時間：12:00～16:00  
18:00～24:00  
定 休 日：毎週火曜日

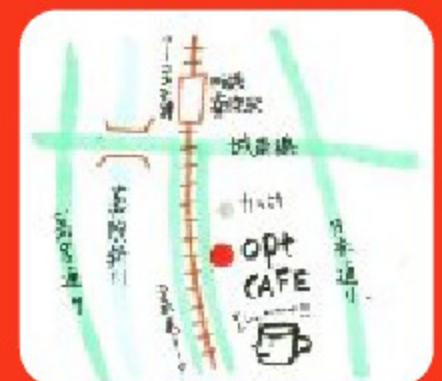
**目次へ**

# Chat CAFE

stage\_opt CAFE



イラストをクリックすると  
拡大で見られます！



住所：福岡市中央区大宮1-3-22  
TEL：092-522-3121

営業時間：11:45-15:00 18:00-翌2:00

フードOS翌1:00、ドリンクOS翌1:30)

\*ランチ 11:45-15:00 (OS14:00)

by Natsuko Sadaoka

目次へ

F  
I  
-1

今回は私達F-I-1のこれまでの4年間の活動をまとめたビストリーをお届け致します。

駆け足で辿つていきますが、私達の活動を皆さんに知つてもらえれば:と 思います。

あと、前回途中で終わつてしまつた「天ジエナ」の全てが:。



## 九州経済調査協会

九州経済調査協会の情報研究部研究員・大谷友男氏による「復権目指す温泉、既存観光地」についての解説。



携帯からの投稿写真

## 00CO バイクの防犯法

場所は福岡空港のそば、仕事の帰りに見つけたの。ちょっと前に自分のバイク盗られちゃったんだよね:。一応見つかっただけどひどい姿になつてたので、泣く泣く廃車しました。この張り紙、バイク防犯にいいかも?

# みんなの広場



編集部では、皆様からの投稿を募集しています。あなたが作ったホームページレポートやCG作品、ホームビデオの映像などを、「みんなの広場」で発表しませんか? あなたも是非、天神エスプレッソデビューしてください!

また、天神エスプレッソの内容に関するご要望も隨時受付中。「トップ記事でこんな特集が見たい」「天神優人でのひとを取材して欲しい」などなど、編集部にアイディアをお寄せください。



採用された方には、カワイイこじんまるオリジナルマグカップもプレゼントだワン!!

投稿・問合せは天神エスプレッソ編集部まで。  
[join@espre.jp](mailto:join@espre.jp)



もっと詳しく見る

大濠公園駅でありて、会社まで戻る途中、「La Brioche」でパンを買うことに。今日の残業用のパンだよ。ここ のパンは素材とかにけつこうじだわつてるんだって。種類はそんなに多くないけど、どれもおいしそー。びのこ好みの甘くないパンだよ。でも、もうちょっと安いといいんだけどな。パン3つで、500円こえるからなー。ここって超小スペースで、ランチもできるのだ。でも、ちょっと高いんだよね。でも、めっちゃおいしいかもしれないから、一度チャレンジしてみようかな。



つれづれ cafe 日記  
「La Brioche」

目次へ



▲公式ホームページは[こちら](#)

配給：ギャガ・ヒューマックス  
公開：4/19(土)からAMCキャナルシティ13他にて上映

導入部は大きな目のアップ。そして名曲「オール・ザット・ジャズ」の粹なナンバーで始まるこの映画の冒頭は、文句なくかっこいい！ブロードウェイの大ヒット作を映画化した本作。20年代のシカゴを舞台に、スキヤンダルを利用してのしあがろうとする2人の歌姫と、裁判を操る金権弁護士の物語だ。

悪の魅力に満ちた男女が繰り広げる華麗なショウは、登場人物の心象風景を歌と踊りでコーチャスに演出。俳優たちの芸達者ぶりもたっぷり堪能したい。ギアとキャサリンは経験者、初挑戦のレニーは二人に比べてちょっと拙いが、それが役のキャラクターにピッタリ合い、絶妙な味を出す。したたかな彼らの原動力は「有名になりたい」という強い欲望だ。

故ボブ・フォッシーの舞台が元だというから、ティエストは当然ダークで退廃的。しかし、映画の演出はエネルギーッシュな陶酔感を醸し出し、見事に現代に合致している。ミュージカル映画のパワーを炸裂させたロブ・マーシャル監督の手腕は高い。大人のための極上のエンタテインメントの魅力を十分に味わうためにも、劇場の大音響・大画面で是非どうぞ。

(映画ライター・渡まち子)

## 今回の映画：



column

## 早耳映画情報



### アナライズ・ユー

配給：ワーナー・ブラザース映画  
公開：AMCキャナルシティ13他にて上映中

デ・ニーロの歌声を聞け！あの情けない、マフィアのボスが帰ってきた！！

### デアデビル

配給：20世紀フォックス  
公開：4/5(土)から天神東宝他にて上映

盲目の男が、正義をかけて闘う！ベン・アフレック主演のカリスマヒーロー・アクション



### ブラック・ダイヤモンド

配給：ワーナー・ブラザース映画  
公開：中洲大洋他にて上映中  
謎の宝石ブラック・ダイヤモンドの正体は？ロスを舞台に炸裂する、ジェット・リー、DMX主演のアクション・ムービー



情報提供  
カミングスーンTV  
Columbia Pictures

目次へ

※この記事はウェブサイト「ちょっとひといきシネマカフェ」を運営している映画ライター・渡まち子さんによるコラムです。

福岡に来て早4年目、早いものです。一応福岡生まれ私は、福岡↓沖縄↓長崎↓宮崎↓東京↓佐賀を経て、福岡のようになり、生れた福岡に戻ってきたわけです。父親が転勤族だったんで、4年ごとに転勤していくたな。だからいつも私は「転校生」だったわけ。この「転校生」つて隣の物欲スタッフSを始め、結構憧れだつたらしい。「転校生」の本人は最初はドキドキものなだけね。先生が紹介

介してくれて、黒板に名前を書いて、私の一言。いつも「松永です。よろしくお願いします」とちよつと控えめに。休み時間、昼休みには質問攻めだけど、私の極意は「最初はあまり自分から話しかけない」なのです。一週間ぐらいいそな子を密かに探すのです。結構「転校生」は大変なのだ。いつも「転校生」だったおかげで、どこでも順応できるようになつたのはいいけど、一つ問題が。それは4年

ぐらいいたつと環境を変えたこと。もうどつか行きたくてウズウズしてくるのです。福岡も四年目、「どつか行きたい病」が再発しそうだけど、福岡って一番住みやすいのよね。食べ物は美味しいし、適度に都会で、自然是美しいし、人柄もいいしね。なのでまだ病気は再発しないのかしら?といながら、外国に住むのもいいよねなどと妄想している今日この頃です。(マツナガ)

## エスプレッソを片手に ● ● ●

スタッフリレーコラム



天神、中洲、大名と、このところ天神界隈を速足で歩くことが多い。仕事の関係で、映画の配給会社を訪ね回るのだが、さすがに福岡は支店経済都市。各配給会社の九州の営業拠点があちこちにある。莫大な制作費をかけた作品から地味ながら味わい深い作品まで、さまざまな映画のPR素材を集めながら「自分がいつから映画を見ない人になったのだろう」と思った。

どういうつもりか、父親が小学生の私を連れていった映画は大人向けの邦画の「忍びの者」や「兵隊やくざ」。「自由」という言葉に妙に思い入れた中学生のころ、「イージーライダー」

や「真夜中のカウボーイ」が鮮烈だった。一方で、違う女の子と「小さな恋のメロディ」を何度も見に行つていたのだから、やっぱり子供だったのだろう。

受験、就職、目の前の仕事と時に追われるうちに、映画に関する内容を確かめるだけのような見方をするようになった。「歓楽通り」「小さな中国のお針子」など、期待できそうな作品が上映中だ。暗い中に浮かぶスクリーンの中の世界に入りこんで、まだ胸が熱くなるのか試して見るのも良いかと思う。

(石松)



## おやじのアンテナ

目次へ